

カリキュラム(計画) 第3回日本語指導研究推進校連絡会・第4回日本語指導研修会

作成者 氏名：今川 美幸

養成・**研修** / **基礎**・専門・支援員 (該当するものに○)

★参照したモデルプログラムNO. (報告書 pp. 207-244) 下線：内容・項目 (pp. 72-76)

日時・場所	2018年11月2日(金)13:30~16:30 時間:165分 於:兵庫県のじぎく会館				
実施団体・機関	兵庫県教育委員会				
研修・授業名	第3回日本語指導研究推進校連絡会・第4回日本語指導研修会				
受講者	<ul style="list-style-type: none"> ・人数:24人 ・受講者の立場:日本語指導担当者 ・年齢層:20代(0)名 30-40代(15)名 50代(5)名 60歳以上(0)名、不明(4)名 ・その他:加配教員8名(日本語指導)、教員8名、日本語指導支援員2人、教育委員会5人 その他1人 				
演題・テーマ☆	外国人児童生徒等に対する日本語指導—各教科の授業に参加できる力の育成に向けて—				
到達目標	日本語を母語としない児童生徒が教科学習時に感じている困難感を理解し、教科内容習得につながる日本語指導の視点に基づいた授業(各教科)の組み立て方を習得する。				
活動展開 (165分)		★	形態	留意点	参考資料
1 講義 80分 教科と日本語の統合学習の授業づくり 休憩※10分		⑭ ⑰	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・一方的に聴くだけではなく、途中にペアワークなどを取り入れ講義内容の理解を深める。 	
2 演習 75分 具体的に目標と学習活動を考える (1) 個人で考える 25分 (2) グループで考える 25分 (3) 全体で共有する 25分		⑭ ⑰	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児童生徒のつまずきから考えるようにする。 ・つまずき、目標、学習活動と支援について、付箋紙に記入して考える。付箋紙は三色用意して色分けする。 	
3 まとめ・質疑応答 10分 学んだことを整理する				<ul style="list-style-type: none"> ・指導案を作成して実践することを伝える。 	